

開陽330°

第九号

目次	2	NPO 法人病院経営支援機構紹介
	3	病院のいちにち 放射線室
	4	新任医師紹介
	5	Hospital News
	6	新人職員紹介 病院クイズ 編集後記

表紙写真「大鷹」

撮影 富樫隆弘

令和7年度まで当院管理課長
本紙のためご提供いただきました



はじめまして！

NPO 法人病院経営支援機構の

理事長

合谷(ごうや)と申します



濱中恵さん

合谷貴史さん

天谷萌乃さん

町立中標津病院の経営改革をご支援させて頂いていますご縁で、寄稿の機会を頂きました。

令和2年6月から町立中標津病院に訪問を開始しましたので、かれこれ6年、毎月中標津町に来ています。

全国レベルで病院経営は非常に厳しい状態にありますことは報道で皆さまご存じの通りです。町立中標津病院の経営も同じく厳しい状態ではありますが、令和2年度からご支援させて頂いて以来、医療収益(会社でいう売り上げ)は上昇傾向であり、令和7年度は過去最高の医療収益を達成しました。120床の稼働病床で、1日平均110人程度の入院患者さんを受け入れています。

これは、医師、看護師、医療技術系職員(薬局・放射線室・臨床工学室・リハビリテーション室)、事務職、そして委託会社の皆さまの尽力の賜物で、町立中標津病院の治療・診断・検査を必要とする住民の方を一人でも多く受け入れる努力を積み重ねてきた結果だと思っています。令和2年度からの町立中標津病院の経営改革の取組は、他の病院でも紹介させていただいていますし、「ぜひ参考にしたい」「取り入れたい」という声も少なくありません。

医療改革において大事な要素として、患者さんおよびご家族の声を真摯に受け止め、質の高い医療を提供するということがあります。そこで令和3年度から「ご意見箱」を「病院への手紙」と名称を変更し、外来及び病棟、そして入院のしおりに入れ、患者さんからの声を多く拾い上げ、経営に役立てる取組を開始しました。患者さん及びご家族への対応の課題、施設や設備に関する課題、療養環境に関する課題など、「こうして欲しい」「こういうことを心掛

けてほしい」というお言葉を真摯に受け止め改善に努めました。一方で、「入院が不安だったけれど、職員の温かい対応で安心して入院生活を送れた」というお褒め、感謝のお言葉が6割近い時もあり、大変嬉しく思います。もちろん、厳しいご指摘もありますので、引き続き、医療の向上に努めてまいります。

ちょっと硬い感じになったので、自己紹介をさせていただきます。私は福岡県北九州市の出身です。病弱でひ弱だった自分を変えようと、高校からラグビーを始めました。全国的に有名な福岡東高校がライバルなのですが、高校2年生の冬の大会で東福岡高校と同点優勝した時の喜びは今も覚えています(生まれて初めての嬉し涙でした)。大学でもラグビー部に所属し、今の私の人生の基礎はすべてラグビーが教えてくれました。なので、町立中標津病院での仕事を終え、中標津高校のグラウンドの横を通るとき、ラグビー部の練習を見るのが楽しみのひとつです。冬は雪に覆われ、西日本と比べて日没も早く、決して恵まれているとは言えない練習環境のなか、素晴らしい成果を続けていらっしゃることは素晴らしいと思います。いつか、練習を近くで見学させていただきたいと思います。

30歳くらいでラグビーを辞め、不摂生な生活を続けていたせいで、38歳の時に身長171cmで体重が82kgまで太ってしまいました。健康診断を受けても「要検査」だらけで流石にマズイと思いランニングを始めました。コツコツとランニングを続けたことで、今は体重71kg前後で推移しています。中標津訪問時の朝は、ホテル⇒中標津空港⇒町立中標津病院⇒ホテルや、ホテル⇒丸山公園⇒標津川沿いのコースでのランニングを楽しみにしています。とても気持ちがいいですし、ランニングやウォーキングされている方が多く、すれ違うときに挨拶される方も多く1日のスタートが気持ちよい中標津町です(秋は熊の心配がありますが…)。

話が乱文になり申し訳ありませんが、いろいろお伝えさせていただきたいことがありますので、また誌面を通じて町立中標津病院のことや地域医療のことなどをお伝えさせていただければと思っています。

病院の いちにち

第8回 放射線室 佐藤 健大

病院でそれぞれの専門性を持って働いている職員を紹介する「病院のいちにち」。

今回はレントゲン検査などを撮影する放射線室の紹介です。



※透視検査ではレントゲン検査と同様に X 線を用います。透視検査では人体を透過した X 線を連続的に見ることができ、臓器の位置や形などをリアルタイムで確認することが可能です。

放射線室はレントゲン室(2室)、骨密度室、CT 室、MRI 室、透視室(2室)、血管透視室※の計 8 室に分かれます。スタッフ 8 名は週ごとに割り振られた場所を担当し撮影していきます。

午前は主に外来のレントゲン撮影、骨密度検査を行います。自分で動くのが困難な入院患者さんに対しては、ポータブル X 線撮影装置という移動型の撮影装置を病室まで運び撮影します。

手術室での術前、術後の撮影や術中透視にも必要時対応しています。

お昼の時間にも患者さんが検査に来られるので、お昼休憩は 2 組に分けて入っています。

CT、MRI は主に撮影予約されている方に行っていますが、必要に応じ緊急の検査にも対応しています。

透視室も人間ドックでバリウム検査を受けている方など予約の方が主となりますが、緊急の透視検査※にも対応しています。

マンモグラフィー検査は女性技師が担当し撮影していきます。

午後も午前と同様に撮影を行います。
午後の患者さんの撮影が落ち着いたら、入院患者さんの撮影を行っていきます。



撮影した CT 検査などの結果を CD-ROM に記録する画像出力、その逆に取り込む画像入力、読影依頼などの事務仕事も随時行っていきます。

明日の予約患者さんの検査内容を確認し、終業となりますが、緊急時対応として終業後も 1 名は待機しています。



右から 4 人目 放射線室室長(成澤副院長)
右から 5 人目 筆者

13:00

16:30
明日の準備

17:15
終業点検
業務終了

令和8年度

新しい医師が着任しました

① 出身大学 ② 卒業年 ③ 前任地 ④ 特技・趣味 ⑤ ひとこと

内科 医長

わたなべ ひろむ
渡邊 啓夢



- ① 旭川医科大学
- ② 2019年
- ③ 富良野協会病院
- ④ ゴルフ
- ⑤ 3年ぶりに町立中標津病院で勤務させていただくことになりました。内科医として皆さまの健康のために少しでも良い医療を提供できるように頑張ります。

内科 医長

ごとう まさき
後藤 聖樹



- ① 旭川医科大学
- ② 2019年
- ③ 旭川赤十字病院
- ④ ギター・ベース・ゲーム・スノーボード
- ⑤ この度新しく内科診療をさせていただきます。初めて中標津に来ましたが、すごく活気のある町だと驚きました。この機会に道東を満喫したいと思います。精一杯頑張ります。

麻酔科 医長

いとう ともき
伊藤 智樹



- ① 北海道大学
- ② 2016年
- ③ 北海道大学病院
- ④ 登山・猫
- ⑤ 地域の皆さまが安心して手術を受けることができるよう、安全な麻酔管理を心掛けて参ります。また、ペインクリニック外来を開設します。痛みにお悩みの方は何なりとご相談ください。

外科 医長

きむら こうたろう
木村 弘太郎



- ① 北海道大学
- ② 2014年
- ③ 手稲溪仁会病院
- ④ 子育て
- ⑤ 初めてのの中標津ですが、都会すぎず田舎すぎず、住みよいまちだと感じております。外科治療を中標津で完結させられるように尽力します。

以下の医師が退職されました

内科 石黒達也 医長

外科 小野雅人 医長

麻酔科 出村理海 医長

当地域の医療にご尽力いただき、ありがとうございました

移動図書館あります



中標津町図書館で行っている「巡回移動図書」を昨年6月より当院でも行っています。3階病棟のデイルームで、40冊と少ないながらも小説、雑誌や実用書などが並んでいます。3階に入院している患者さん以外でも利用可能で、選んだ本は病室でゆっくり読んでいただけます。

小さな文字を読むのが負担な方へ向けて、大活字本※の小説も並んでいます。本は月に1度入れ替わり、入れてほしい本をリクエストすることも可能です。

※大活字本は文字の大きさや行間を読みやすく調整した本です。一般の本の文字サイズはこの文字くらいですが、大活字だとおよそのくらいの大きさです。



大活字本

患者さんやスタッフが置いていった本もいつの間にか増えています



医療相談室が変わりました

患者さんやご家族からの多様な相談にワンストップで対応できるよう、患者サポート、医療相談、地域連携、入退院支援の機能を集約した窓口となりました。

ソーシャルワーカー3名と退院支援看護師1名が常駐しております。

対応窓口を設置しましたので、お越しの際は窓口からお声がけください。

これに伴いプライバシーに配慮した面談室も2室増設しました。1階ロビーにあるグレーのボックスが面談室となっております。



正面玄関から見た相談ブース

相談室窓口





新人職員を紹介します

今年も新しい仲間が増えました

看護師 6 名
薬剤師 1 名

病院の 雑学 クイズ

第 8 問

Q. 町立中標津病院で 2025 年※に
生まれた赤ちゃんは何人？

※2025 年 1 月～12 月の間

A. 128 人 です。

地域に生活する方の出産や、里帰りでの出産など、地域にとって町立中標津病院の産婦人科は必要不可欠な診療科です。年々出生数は減少していますが、これからの地域で安心、安全な出産、家族作りができるようお手伝いしていきます。



編集後記

地域医療相談係

夏本番を感じさせる陽気が続いておりますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。暑い日が続きますので、体調には十分気をつけてください。今回の広報誌では当院の経営改革をともにしている方の紹介や、レントゲン撮影などで関わりのある放射線室の紹介などを掲載しております。今後も皆さんが知りたいと思えるような情報を発信していきます。広報誌に関するご意見・ご要望もお聞かせください。

発行者

町立中標津病院
〒086-1110
北海道標津郡中標津町
西 10 条南 9 丁目 1 番地 1
TEL：0153-72-8200
FAX：0153-73-5398

発行日

令和 8 年 7 月 25 日